

禁煙・完全分煙化で社会にアピールを

PCSA総会・勉強会

来年4月1日から実施

PCSA(一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会、加藤英則代表理事)は8月19日、東京・銀座の「フエニックスプラザ」で臨時総会と総



加藤代表理事



120人(勉強会含む)が参加

秋元・前参院議員 講師の結城氏 閉会の宮本理事 開会の谷口理事

営勉強会を開催。「来年4月1日より、パチンコ店の禁煙・完全分煙化を実施するための行動を始める」との提言を採択した。

パチンコ業界の禁煙への取り組みを一般社会に広くアピールし、イメージアップを図りたいとしている。当面は、リニューアル、グランドオープン時に禁煙もしくは完全分煙化にすることを旨とする。

禁煙・分煙のメリットとして①業界のイメージアップが図れる、新規顧客の開拓ができる②お客とホールスタッフの受動喫煙防止の幅が広がる③空調、煙草回収装置などの設備抑制ができる

る⑤煙草の回収、清掃に係わるオペレーションのコスト抑制ができる、を挙げている。一方、デメリットとしては①喫煙客が一時的に離反する②新たな設備投資が必要になる、としている。

総会は谷口久徳理事の開会の辞で開会。加藤代表理事は「私が代表理事になって初の総会だ。お盆の業績は、あまり良くなかった、その声を聞く。特に4円が著しく冷え込んでいる。これは消費者と業界の感覚が一致していないためで、この点を是正しなければ発展はない。法律問題も浮上しており、今後は国民目線での動きをしなければならぬ」と述べた。

SA提言を採択し、ホール5団体にも呼びかけていくことを決めた。議事では、①賛助会員としてミキ・エンタープライズ(株)(横浜市中区、林芳樹社長)の加盟を承認。同社はパチンコ店向けの人材派遣、イベント企画などを実施②秋元司前参院議員をPCSA経営相談室委員として就任することを承認。契約期間は1年間。来席した秋元氏は「先ほどの参議院選で期待に応えられず落選したが、命まで取られた訳ではない。浪人の私に働く場を与えてくれて感謝する。これからは業界側の視点でしっかり働かせていただく」と挨拶した。

報告事項ではPCSA会員企業のデータから推計したパチンコホール年間売上高は2兆8632億3000万円(前年比5.3%減)、雇用人数は33万3230人(同8.2%減)、法人IA AWARD(業界誌対象)の表彰式がおこなわれた。娯楽産業の鳥津幸広編集長が受賞。鳥津氏は第1回に引き続き2度目の受賞。宮本君夫理事の閉会の辞で総会を終了。

「相談はまじめで冷やかしはほとんどない」RSNの西村代表

今年3月にPCSAの皆さんが現場(沖縄)にバスで視察に来られたのには驚いた。バスで大人数は初めてだ。RSN(リカバリーサポート・ネットワーク)は平成18年4月に電話相談として開設。今年3月末までで総相談件数は4327件、このうち相談件数は1305件で月平均100件を超えている。



講師の西村氏

全日遊連の協力もあって、ホールのトイレにA4サイズのポスターを貼ってもらっている。ホールで一番冷静になれる場所ということでトイレにのみ貼るようお願いしている。相談の内容は皆まじめで、冷やかしはほとんどなく、話の内容ものめり込みに特化した問題ばかりだ。

アルコール業界も製薬業界も依存問題に直接取り組んではいない。パチンコ業界だけだ。居酒屋に行って、「あなたは飲みすぎではありませんか」といったポスターはない。この点、ホールの従業員の方々も認識してほしい。アルコールなどは、何年か期間を置いて依存状態になるが、パチンコはやり始めて短時間で問題になるケースが多いのが特徴だ。また、お金を使い生活がメチャクチャになるまでの人は、まだ少ない。貸金業法改正以降、相談が減っているが、依存問題のデータを今後も蓄積していきたい。

40分の休憩後、第二部の第34回PCSA経営勉強会(2氏の講演)へと移った。第一部は西村直之リカバリーサポート・ネットワーク代表が「パチンコ依存問題 電話相談の現場から」と題し、様々なデータを基に依存問題取り組みの必要性を訴えた(別項)。第二部は結城義晴(株)商人舎社長が「不況は商人を鍛える」と題した講演をおこなった。

税納税額は1648億円(同43.5%減)などの報告がおこなわれた。